

## 検討会の論点例（たたき台）について

## I 我が国の経済活動・国民生活において、内航海運が果たすべき役割と今後の方向性について

（具体的な論点の例）

## 1. 環境産業としての優位性の発揮について

環境に優しい輸送機関としての優位性を発揮できるよう、環境に関する施策・取組みを強化していくべきではないか。

## 2. 持続可能な業態への転換について

船舶の老朽化の問題を解決し、安定した輸送を供給する持続可能な業態へと転換すべきではないか。

## II 代替建造促進に向けて取り組むべき課題について

（具体的な論点の例）

## 1. 船舶代替サイクルの促進について

船舶建造に対するインセンティブの付与などを行い、代替サイクルを加速していくべきではないか。

## 2. 船舶の性能向上等について

船舶の環境性能向上や、標準化等の建造コスト縮減に資する技術開発・支援や、これと一体となっていく規制緩和等により、船舶建造を促進できないか。

### 3. 新たな需要創出に向けた取組みについて

内航フィーダー輸送等、新たな需要創出に向けた取組みを促進するためには何が障害となっているのか。

### 4. 業界構造の改善について

一杯船主が多数を占める零細的な業界構造の改善については従来より指摘されているが、持続可能な業態となるためにはどういった業界構造を目指すべきなのか。

### 5. 関係者との連携について

造船業に対する支援等、関係する海事産業クラスターと連携した取組みにより代替建造を促進できないか。

### 6. 暫定措置事業の今後のあり方について

暫定措置事業の早期解消に向け、今後どういった方向性で制度設計を行うべきか。